

# 全国代表委員会開く

## —70年春期闘争方針を確定—

去る一月十五日、大阪において同盟全国委員会は、全国代表委員会を拡大規模で開催した。

この代表委員会は①七〇年をめぐる内外情勢の諸特徴を明らかにすること②昨秋の、佐藤訪米阻止を中心とする闘いの総括③今春の闘争、とりわけ全軍労の闘いと連帯した闘争の学生戦線における綱要④同盟の組織問題を解決する方向を与え、同盟の戦闘的統一を強化すること——などの任務をもつものであった。

会議は午前九時より始まり、まず佐藤全国委員長の一括報告が行われた。

次に討論に入ったが、それに先立ち阪大の二代表委員より、「同盟の統一保持のため今代表委では採決し決定を行わない」とする動議が出されたが、「今春闘争の闘争方針確定こそ今代表委の任務である」とする反対意見が多数を占め却下された。

討論に入つて、情勢・総括・任務方針の全般にわたつて活発な発言が続いた。とりわけ、情

勢の項では日帝の近畿ミサイル基地設置計画・中教審特別委報告等の反動性が明らかにされ、とまどめを一括して採決に付し更に任務方針の項では、全軍労のスト闘争に連帯した闘いこそ急務であることを発言者すべてが強調した。

が十二時間わたる討論のまとめを行ない、更に全国委の報告出席代表委の賛成多数をもつて採決し決定された。午後九時すぎ、すべての日程を終えて会議は終了した。

支那報告終了後、全国委員長

